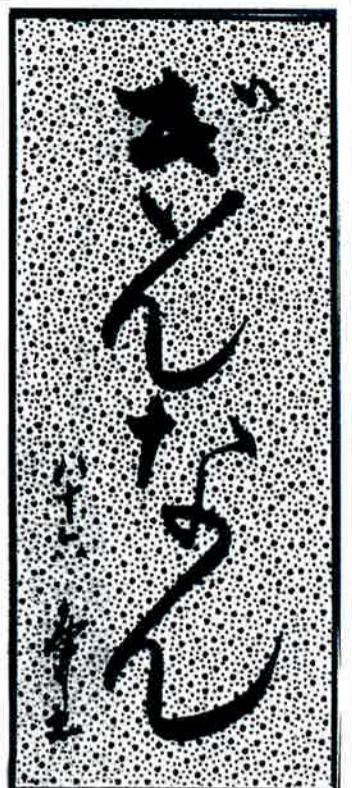
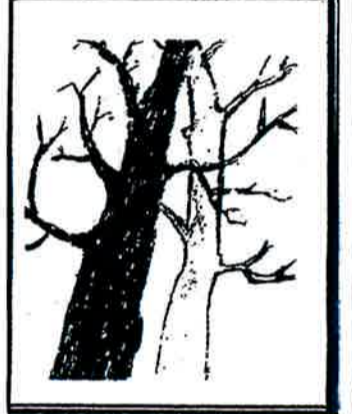




今が幸せ： 笑顔で円満生活



発行所 養護老人ホーム
延命園
長崎市寺町3-1
(095)822-8563
発行責任者 園長 堀 祐敬
題字 池田可宵先生



長崎の中心部に位置する延命園。夏は長崎港から打ち上げられる花火の音が響きわたる。

「昨夜は、花火の音が聞こえましたか？」の問いかけにTさんは、「花火の音は聞こえましたが、あまり花火は好きじゃないんですよ。」と表情を曇らせた。花火のドーンという音とピカッと光る様子が、七十年前の原爆を思い出すという…。

Tさんが、被爆したのは、十二歳の時。爆心地から八・五km地点にある茂木町。家の上にお墓があり、空襲警報が鳴ると弟と荷物を抱えて墓の方に逃げていた。どこに逃げたらいいのかわからず、右往左往したのを覚えている。当時は、2軒長屋に住んでいて、隣の家族と一致団結して声を掛け合って逃げていた。

八月九日の朝、空襲警報が

解除になったので、兄弟たちと畑で遊んでいると、ピカッと空が光り、ドーンというものすごい音がした。いわゆるピカドン。

Tさん一家は、原爆が投下された当日、ひわ山に避難し、一夜を過ごした。茂木の海岸から、長崎方面を見ると赤い火が数日間燃え続けていた。茂木は、原爆の被害はなかったが、海岸の方に「二見茶屋」という所があり、そこに人が運ばれてきていた。母は、けが人の世話にあたっていた。茂木の海岸では連日、亡くなった方の死体を火葬していたそうだ。

原爆投下後も、茂木湾の上空をアメリカ軍の飛行機が低空飛行していた。終戦後の九月から夏休みを終えて学校に通い出したが、先生が教室にいない時に進駐軍が教室に入りこんできて怖かったことを鮮明に記憶している。他の子どもたちは、教室の隅に隠れていたが、自分は窓から飛び出して逃げた。

進駐軍がいるので、夜は絶

対に出歩いてはいけなと言われていた。

戦後、父が亡くなり、六人の兄弟を母が女手ひとつで育ててくれた。長女だったこともあり、母は自分に厳しく、何でも手伝わされた。ご飯のおひつを洗わせられ、「よく取れていない」と言われていたので、おひつを母に投げつけていた。あまりにも腹が立つて「継母！」と言い放ったこともある…。(穏やかな物腰のTさんからは想像できない姿です)高等科を卒業後、編み物の講師として働いた。家を離れて初めて母のありがたみがわかった。今思えば、厳しく育ててもらい、よかったのだと思う。百歳を迎え、大往生で亡くなった母。「今でも夢に見るのは、どうかある。やっぱり親子が一番。」

結婚はするつもりはなかったが、母に諭されて九歳年上の男性と結婚。夫の希望で退職。約一年間夫の母を自宅で介護した。やさしい夫ではあったが、食事にはうるさく、食卓に

出たものを「まずい」と言われることはなかったが、口に合わなかつたら手をつけてくれた。料理に思いやりが足りない」と炒め物は好まず、煮物などの手を掛けた料理が好きだった。夫は、癌を患い七十歳で他界したが、毎日看病の為に病院に通っていた。三〇年足らずの夫婦生活であったが、やさしい夫に巡り合え、幸せだった。

延命園に入所してからは、行事のたびに、「もつてこーい」とおくんちさながらの掛け声で、場を盛り上げてくれるTさん。「延命園に来てこんなことするとは思わなかったよ。私にできることがあるばしますよ…。」

戦争はするもんじやないね。ニュースで何百人も死んだと報道されたら、悲しい気持ちになる。みんなと言いつ争いをせず、円満に生活するよう心掛けていきます。」と笑顔を見せてくれるTさんでした。



＊わたしの宝物＊

今回は皆さんに宝物についてお伺いいたしました。

☆Aさん(七十九歳)

宝石が宝物。母の形見で母が身につけていた指輪・イヤリング・ネックレス。母は穏やかで優しい人だった。四十二歳の時病気で亡くなるまで茶道をしており、料理上手だった。怒られた記憶はあまりない。原爆の時小学校四年生で島原に疎開していた時暇さえあれば泊まりに来てくれていた。ほとんど着物をきて自分でも手作りしていた。人の悪口を言うのは好まず、「人に迷惑をかけないように」という言葉がとても印象に残っている。

☆Bさん(九十七歳)

私の宝物は命。命があつてここにお世話になっていく。原爆の時は鍛冶屋町から浦上に行こうとして電車を待っている時に原爆が落

ちた。電車ではなく歩いて行つていれば今は生きていなかったと思う。命に縁があつて今ここにいます。

☆Cさん(七十三歳)

那須温泉で働いていた時の思い出。初めて働いた場所だったが皆人が良くてようしてもらった。当時の思い出も宝物。

☆Dさん(六十八歳)

やっぱり孫かな。孫を見るのが楽しみ。孫さえて来てくれれば何もいらない。孫は七人。四歳から十七歳までおるとよ。孫の成長やひ孫がみられるかなと楽しみにしています。

☆Eさん(七十六歳)

やっぱりタバコかな。最近までやめていたけど、やっぱりやめきらなかった。タバコが一番の宝物やね。

☆Fさん(八十六歳)

自分自身が一番の宝。人に迷惑ばかけんごと自分ば大切にせんといかんね。そやけん自分が一番。



資金収支計算書

(自)平成25年4月1日～(至)平成26年3月31日

Table of financial statements showing income and expenses for the period from April 1, 2013, to March 31, 2014. It includes categories like 'Income' (収入) and 'Expenses' (支出) with sub-items and numerical values.

事業活動収支計算書

(自)平成25年4月1日～(至)平成26年3月31日

Table of business activity income and expense statements for the same period as the first table, detailing operational costs and revenues.

貸借対照表内訳表

平成26年3月31日現在

Table of balance sheet details, showing assets (資産) and liabilities (負債) with their respective components and values as of March 31, 2014.

- 二月の行事予定をご紹介します
二日 散髪ボランティア
二日 傾聴ボランティア(松本様)
三日 懇談会・食事・生活委員会
三日 節分・豆まき
四日 三味線ボランティア
五日 血圧測定・外食デー
九日 浜本理容店様
十二日 外食デー・深堀ボランティア

行ったり来たり

- 十五日 ナースコール点検
十七日 避難訓練
十八日 誕生会
二十日 霊安堂清掃
二十三日 平和理容院・作ろう会
二十五日 司厨士協会
二十七日 ランタンフェスティバル
毎週月曜・火曜・地域支援ボランティア
毎週木曜日・裁縫ボランティア

ご覧下さい決算書

